

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	古俣 智江				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼミの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。（グループワーク）
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。（グループワーク）
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。（グループワーク）
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料（ポスター、スライド、発表原稿等）を作成する。（グループワーク）
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	ゼミ配属、研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
15	外部講師による講演（1）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必修	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

本ゼミでは、食品と経済のかかわりに興味をもち、食品に関して消費がどのようになされていくのかをSDGs達成に関連して考察していく。食品経済に関する学外研修を多く行います。卒業研究の進捗状況報告を含めて、ゼミ生による発表も行う。本ゼミが取り上げるSDGsの目標11は2030年までに「住み続けられるまちづくりを」を目指すものであり、本ゼミでは、それら目標の達成に、焦点を当て探ることとする。

《授業の到達目標》

健康栄養学科に学ぶ学生としてふさわしい視点からSDGsを正しく理解し、問題意識をもって「行動する」ことへとつなげられる。特に、食品によって地域を活性化させるという視点に立つて、各自の考えや意見を表明できるようにする。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

授業の都度必要に応じて資料を配布する

《参考図書》

令和4年度版 「さいたま市の農業」さいたま市経済局農業政策部農業政策課2023年3月発行

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートは次回までにコメントし返却する。プレゼンテーションについては、その都度授業中にコメントしフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼミの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。(グループワーク)
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。(グループワーク)
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。(グループワーク)
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料(ポスター、スライド、発表原稿等)を作成する。(グループワーク)
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。(グループワーク)
9	さいたま市の農業	さいたま市役所を訪問し、さいたま市の農業に関し説明を受ける 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
10	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
11	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
12	さいたま市の農業のまとめ	前回の活動の反省とまとめ 【時間外学習】事前に配布された資料を熟読しておく
13	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
14	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
15	外部講師による講演(1)	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

2年次での卒業研究論文の作成及び卒業研究発表会に向けて、学校給食に関する基礎知識・技能、研究に向かう姿勢や態度を身に付けるため、主体的に課題と向き合い、ねらい達成のための方策を探る。本授業では仲間と協働しながら研究内容を深められるよう、アクティブラーニングの手法を用いるなどしてグループ内での討議やグループワーク等を行う。その際、SDGsの視点を持って研究に臨む。

《授業の到達目標》

- ・SDGsの視点を持って研究することができる。
- ・研究論文の構成を説明できる。・研究を企画できる。
- ・研究方法や結果について討議できる。
- ・研究内容をまとめることができる。
- ・研究内容を発表できる。・研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じてプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
 日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
 村上健太郎・基礎から学ぶ栄養学研究・建帛社
 国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録種等

《授業時間外学習》

配布された資料や調査研究テーマについて事前に調べておく。毎回の授業について1時間の授業時間外学習（予習・復習）が必要である。正課授業時間外で実施する場合もあるため、実施日に留意すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼムの意義	卒業研究とは。SDGsとは。SDGsと卒業研究 [時間外学習] SDGsについて調べておく。
2	研究とは何か	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは、研究倫理の遵守 [時間外学習] 本時の内容を復習しておく。
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、WEBによる検索 研究論文を読解し、枚内容をまとめる。 [時間外学習] 本時の内容を復習しておく。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループ別の模擬研究 調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成 (グループワーク) [時間外学習] 研究計画をまとめておく。
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	研究計画、研究方法に基づきアンケート調査、文献調査を実施 (グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
6	模擬研究の実施(3) 研究計画の解析	調査結果を解析し、考察 (グループワーク) [時間外学習] 研究結果を解析しておく。
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容をまとめ、発表資料を作成 (ポスター、スライド、発表原稿) (グループワーク) [時間外学習] 研究内容のまとめを仕上げる。
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	研究発表 (グループワーク) と評価 (振り返り) [時間外学習] 他のグループの発表をまとめておく。
9	卒業研究の実施	食育ゼミ配属。「学校給食」に関する研究テーマをゼミ担当教員及び共同研究者と協議し決定。研究計画の概要を作成。(グループワーク) [時間外学習] 復習する。
10	卒業研究の実施	研究テーマについてゼミ担当教員及び共同研究者と協議し再検討。先行研究等の検索。(グループワーク) [時間外学習] 研究テーマを考えておく。
11	卒業研究の実施	研究テーマについてゼミ担当教員及び共同研究者と協議し、研究計画を作成。先行研究の検索。(グループワーク) [時間外学習] 研究計画を仕上げておく。
12	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献調査とともにアンケート調査について協議する。(グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
13	卒業研究の実施	研究計画に沿って、文献調査とともにアンケート調査の実施。結果の解析。(グループワーク) [時間外学習] 研究を進めておく。
14	卒業研究の実施 学外調査	学外に出向き、研究のための情報を収集する。(グループワーク) [時間外学習] 調査した内容をまとめておく。
15	外部講師による講演	農林水産物や農林水産業、食品産業に関する講演 [時間外学習] 講演内容をまとめておく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼミの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。（グループワーク）
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。（グループワーク）
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。（グループワーク）
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料（ポスター、スライド、発表原稿等）を作成する。（グループワーク）
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	ゼミ配属、研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
15	外部講師による講演（1）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	富重 慶子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

栄養教育学ゼミに所属し、ゼミ担当教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。
研究論文の構成を説明できる。
研究を企画できる。
研究結果について討議することができる。
研究内容をまとめることができる。
研究内容を説明できる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時に行い、ゼミ内での討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼムの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。(グループワーク)
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。(グループワーク)
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。(グループワーク)
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料(ポスター、スライド、発表原稿等)を作成する。(グループワーク)
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。
9	卒業研究の実施	ゼミ配属、研究テーマをゼミ担当教員および共同研究者(ゼミ生)と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索(グループワーク)
10	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員および共同研究者(ゼミ生)と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索(グループワーク)
11	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ担当教員および共同研究者(ゼミ生)と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索(グループワーク)
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
15	外部講師による講演(1)	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	鈴木 玉枝				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼミの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。（グループワーク）
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。（グループワーク）
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。（グループワーク）
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料（ポスター、スライド、発表原稿等）を作成する。（グループワーク）
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	ゼミ配属、研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
15	外部講師による講演（1）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	甲山 恵美				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(前期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。
研究論文の構成を説明できる。
研究を企画できる。
研究結果について討議することができる。
研究内容を説明できる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

桑田てるみ他、学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版 スキルを学ぶ21のワーク、実教出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	卒業研究プレゼミの意義	卒業研究とは SDGsとは、SDGsと卒業研究の関係
2	研究とは	研究の種類、研究の進め方、研究論文とは 研究倫理の遵守について
3	研究資料の検索 研究論文の読解	文献検索の方法：図書館の利用による検索、ウェブによる検索 研究論文を読解し、内容をまとめる。
4	模擬研究の実施(1) 研究計画の作成	グループに分かれ模擬研究を行う。調査研究のテーマと研究方法を考え研究計画を作成する。（グループワーク）
5	模擬研究の実施(2) 調査の実施	作成した研究計画、方法に基づきアンケート調査、文献調査等を実施する。（グループワーク）
6	模擬研究の実施(3) 研究結果の解析	調査結果を解析し、考察する。（グループワーク）
7	模擬研究の実施(4) 研究のまとめ	研究内容を発表できる形にまとめ、発表資料（ポスター、スライド、発表原稿等）を作成する。（グループワーク）
8	模擬研究の実施(5) 研究発表	グループごとの研究発表を行う。（グループワーク）
9	卒業研究の実施	ゼミ配属、研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
10	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
11	卒業研究の実施	研究テーマをゼミ教員および共同研究者（ゼミ生）と協議して決定し、研究計画を作成する。研究テーマの検討、先行研究の検索
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
15	外部講師による講演(1)	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	古俣 智江				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演（2）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究プレゼミ研究内容をまとめる（中間報告）。中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	大野 満奈				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

本ゼミでは、食品と経済のかかわりに興味をもち、食品に関して消費がどのようになされていくのかをSDGs達成に関連して考察していく。食品経済に関する学外研修を多く行います。卒業研究の進捗状況報告を含めて、プレゼミ生による発表も行う。本ゼミが取り上げるSDGsの目標11は2030年までに「住み続けられるまちづくりを」を目指すものであり、本ゼミでは、それら目標の達成に、焦点を当て探ることとする。

《授業の到達目標》

健康栄養学科に学ぶ学生としてふさわしい視点からSDGsを理解し、問題意識をもって「行動することへとつながられるよう努力できる。特に、食品によって地域を活性化させるという視点に立って、各自の考えや意見を出来るだけ表明できるようにする。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

授業の都度必要に応じて資料を配布する

《参考図書》

令和4年度版 「さいたま市の農業」さいたま市経済局農業政策部農業政策課2023年3月発行

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

提出されたレポートは次回までにコメントし返却する。プレゼンテーションについては、その都度授業中にコメントしフィードバックする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演(2)	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究について	卒業研究についての課題と予定する内容の発表を聴講する 【時間外学習】卒業研究に関する資料を読んでおく
3	卒業研究について	卒業研究について計画の発表を聴講する 【時間外学習】前回発表された2年生の卒業研究に関する時事問題を調べておく
4	SDGsについて	食品に関連するSDGsについて学修する 【時間外学習】SDGsに関する資料を用意しておく
5	食品による町おこし	食品による町おこしについて学修する 【時間外学習】食品による町おこしの資料を用意しておく
6	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	さいたま市の農業への貢献活動	大崎公園で開催されるマルシェ(農業交流直売会)への出店 【時間外学習】事前に販売する商品を製菓する
11	活動のまとめ	さいたま市の農業への貢献活動をまとめる 【時間外学習】大崎公園マルシェの資料を整理しておく
12	活動のまとめの発表	前期と後期の活動のまとめを発表する 【時間外学習】発表原稿を作成しておく
13	卒業研究個人論文発表会	2年生の卒業研究の発表を聴講する 【時間外学習】2年生の個人論文を読んでおく
14	卒業研究グループ論文発表予行の聴講	2年生の卒業研究グループ論文の発表予行を聴講する 【時間外学習】2年生の卒業研究グループ論文のドラフトを読んでおく
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	馬場 和久				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

食育ゼミに所属し、担当指導教員やゼミ生と協働しながら、「学校給食」に関するテーマに沿って研究を進める。研究結果をまとめ、考察し、論文にまとめる。また、研究結果をスライドにし、発表・協議を行う。

《授業の到達目標》

課題発見、解決、提案の力を身に付ける。調査研究した内容を文章や図表にまとめることができる。研究内容を説明・討議することができる。研究内容・成果を発表することができる。研究内容・成果を論文としてまとめることができる。研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演(2)	農林水産物や農林水産業、食品産業に関する講演 [時間外学習] 講演内容をまとめておく。
2	卒業研究の実施	研究計画に沿って卒業研究を進める。先行研究やアンケートの調査結果をまとめ、考察していく。 [時間外学習] 研究を進めておく。
3	卒業研究の実施	研究計画に沿って卒業研究を進める。先行研究やアンケートの調査結果をまとめ、考察していく。 [時間外学習] 研究を進めておく。
4	卒業研究の実施	研究計画に沿って卒業研究を進める。先行研究やアンケートの調査結果をまとめ、考察していく。五峯祭での発表できる内容を整理しまとめる。 [時間外学習] 研究推進
5	卒業研究の実施	研究計画に沿って卒業研究を進める。先行研究やアンケートの調査結果をまとめ、考察していく。五峯祭での発表できる内容を整理しまとめる。 [時間外学習] 研究推進
6	卒業研究の実施	研究計画に沿って卒業研究を進める。先行研究やアンケートの調査結果をまとめ、考察していく。 [時間外学習] 研究を進めておく。
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動発表の準備(グループワーク) [時間外学習] 発表展示物の作成を進めておく。
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動発表の準備(グループワーク) [時間外学習] 発表展示物の作成を進めておく。
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の発表(グループワーク) [時間外学習] 発表展示物の作成を進め発表の準備をしておく。
10	卒業研究の実施 学外調査	研究計画に沿って卒業研究を進める。学外での調査や発表を行う。 [時間外学習] 学外調査の準備と実際の内容をまとめておく。
11	卒業研究の実施	卒業研究の成果をまとめ、中間発表の準備を行う。(スライドやポスターの作成) [時間外学習] 発表の準備を進めておく。
12	卒業研究の実施	卒業研究の成果をまとめ、中間発表の準備を行う。(スライドやポスターの作成) [時間外学習] 発表の準備を進めておく。
13	卒業研究の実施	1年間の卒業研究の成果をゼミ内で発表し、討議する。(中間発表) [時間外学習] 発表の準備を進めておく。
14	卒業研究の実施	中間発表での研究内容や協議・評価等を踏まえ、次年度に向けた研究テーマについて考える。(グループワーク) [時間外学習] 次年度テーマをを考えておく。
15	卒業研究の実施	次年度に向けた研究テーマについて発表・協議を行う。(グループワーク) [時間外学習] 協議内容をまとめ自らのテーマについて再考する。

《テキスト》

必要に応じてプリント資料等を配付する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修「論文の書き方・まとめ方」第一出版
日本栄養改善学会監修「初めての栄養学研究論文」第一出版
村上健太郎・基礎から学ぶ栄養学研究・建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録種等
他にゼミ指導教員から必要に応じて指示する。

《授業時間外学習》

配布された資料や調査研究テーマについて事前に調べておく。毎回の授業について1時間の授業時間外学習(予習・復習)が必要である。正課授業時間外で実施する場合もあるため、実施日に留意すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人やグループでの研究進捗状況について、レポートや討議の中で、その都度評価しフィードバックしていく。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	田中 政巳				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演（2）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究プレゼミ研究内容をまとめる（中間報告）。中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	富重 慶子				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

栄養教育学ゼミに所属し、ゼミ担当教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。
研究論文の構成を説明できる。
研究を企画できる。
研究結果について討議することができる。
研究内容をまとめることができる。
研究内容を説明できる。
研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時に行い、ゼミ内での討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演(2)	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備(グループワーク)
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ担当教員のもとで卒業研究を実施する。文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。(グループワーク)
14	卒業研究の実施	卒業研究プレゼミ研究内容をまとめる(中間報告)。中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。2年次卒業研究の研究計画を作成する。(グループワーク)
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	鈴木 玉枝				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。

卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。

研究論文の構成を説明できる。

研究を企画できる。

研究結果について討議することができる。

研究内容をまとめることができる。

研究内容を説明できる。

研究倫理を遵守できる。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

日本栄養改善学会監修、論文の書き方・まとめ方、第一出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版
村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。研究は正課授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日が変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演（2）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。（グループワーク）
14	卒業研究の実施	卒業研究プレゼミ研究内容をまとめる（中間報告）。中間報告をもとに研究計画の見直しを行う。2年次卒業研究の研究計画を作成する。（グループワーク）
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。

《専門科目》

科目名	卒業研究ゼミ				
担当者氏名	甲山 恵美				
授業方法	演習	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・通年(後期)
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	2-2 知識・技能 3-3 汎用的技能 4-4 態度・志向性 5-5 総合的な学習経験と創造的思考力				

《授業の概要》

学科（専攻）の研究班あるいは研究領域のゼミに所属し、各ゼミの指導教員と協議して研究テーマを決定し研究を行う。研究結果を解析・考察する。卒業研究は、研究の遂行や研究結果の解析・考察を、各研究グループで討論しながら進めていく。

《テキスト》

必要に応じプリント等を配布する。

《参考図書》

桑田てるみ他、学生のレポート・論文作成トレーニング改訂版 スキルを学ぶ21のワーク、実教出版
日本栄養改善学会監修、初めての栄養学研究論文、第一出版 村上健太郎、基礎から学ぶ栄養学研究、建帛社
国際学院埼玉短期大学 卒業研究・特別研究論文抄録集
ほか、各ゼミの指導教員が指示する。

《授業の到達目標》

SDGsを説明できる。
研究論文の構成を説明できる。
研究を企画できる。
研究結果について討議することができる。
研究内容をまとめることができる。
研究倫理を遵守できる。

《授業時間外学習》

毎回の授業について1時間の授業時間外学習が必要である。授業時間外学習において、準備学習として毎回のゼミ活動の内容をまとめ、次回のゼミに臨むこと。
研究は授業時間外を活用して実施する場合もある。各ゼミで授業日の変更となることがあるため、日程は十分に把握すること。

《成績評価の方法》

卒業研究ルーブリック表に基づき評価し、すべての評価項目が1以上を合格とする。

《課題に対するフィードバック等》

各人が研究の進捗状況報告を毎回のゼミで随時行い、積極的に指導教員や共同研究者（ゼミ生）と討論することにより、研究遂行にフィードバックしていく。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容など
1	外部講師による講演（2）	農林水産物や農林水産業・食品産業に関する講演
2	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
3	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
4	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
5	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
6	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
7	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
8	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動の準備（グループワーク）
9	卒業研究の実施	五峯祭におけるゼミ活動（グループワーク）
10	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
11	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
12	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
13	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
14	卒業研究の実施	研究計画に沿ってゼミ教員のもとで卒業研究を実施する。実験・文献調査・アンケート調査等の実施。随時結果をまとめ、解析する。
15	卒業研究発表について	2年次生の卒業研究発表会に参加し、卒業研究における研究発表の方法について学習する。